

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010函第54号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成22年7月25日 01時30分ごろ	
発生場所	青森県中泊町小泊漁港北西方沖20海里（M）付近 （概位 北緯41°22.6′ 東経139°56.6′）	
事故等調査の経過	平成22年9月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 共栄丸、19トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AM2-4868（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 主機及び発電機等に濡損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、小泊漁港北西方20M付近において、いか一本釣り漁の操業中、平成22年7月25日01時30分ごろ、船長が、機関室の浸水を発見した。</p> <p>船長は、機関を停止して排水作業を行い、僚船に無線で救助を要請した。</p> <p>本船は、僚船にえい航されて小泊漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	本船は、散水ポンプの吐出部配管に腐食孔があった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、小泊漁港北西方沖において操業中、散水ポンプの吐出部配管に腐食孔が生じ、海水が機関室に入ったものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、小泊漁港北西方沖において操業中、散水ポンプの吐出部配管に腐食孔が生じたため、海水が機関室に入ったことにより発生したものと考えられる。	